

藤岡家の武者のぼり

『平家物語・第11巻』

「弓流（ゆみながし）」

藤岡家の武者のぼりには、源平の合戦（1185年）が描かれています。屋島で源氏は舟に乗って逃げた平氏を追って、馬の腹が水につかるほど海中に攻めて行きましたが、義経は、脇下にはさめていた弓を海に落としてしまい、平家方の越中次郎兵衛盛継に熊手を懸けられ、危うく落馬しかけます。

義経は刀で熊手をあしらい左手のむちで弓をかき寄せ、引揚げました。義経の弓が小さいものだったので、「源氏の大將がこんな弱い弓を使っているのか」と物笑いの種になるのを恐れたからでした。

越中次郎兵衛盛継

武蔵坊弁慶

那須与一

源義経

藤岡家の武者人形と武者のぼりは

6月5日まで展示しています。

